

好いとお！

Readers Voice
読者の広場

福津

読者の声を中心に、みんなと広報広聴係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のこと、市内の出来事のレポートなどを掲載していければと考えています。たくさんのお声をお寄せください。

広報3月号の感想

自治会活動は

「共助」の柱



定札の発祥のまち福津で行われている「共助」の柱である自治会活動について、四角区、岡の2区、花見

総区の事例と3人の自治会長の言葉で紹介されていて、とても良かったと思います。（Worldさん／通り堂／64歳）

いつもお便りありがとうございます。Worldさんがおっしゃっているように、自治会活動は地域に住む人たちが、住みよい地域づくりのために協力し合う「共助」の基礎をなすものだと思います。福津は江戸時代の終わりごろ

から、国民健康保険制度のモデルになった「定札」が行われていました。この仕組みも地域の支え合いのひとつです。古くから支え合いの精神が根付いている福津で、地域の輪が広がっていくことを願っています。

広報3月15号の感想

福津がひとつの

大きな家族になるように



いつも楽しみにしています。「郷育」はとてもいい言葉ですね。高齢者も子どもそれぞれの良さを認め合って、ひとつの大きな家族のような市になりますように。（ノンばあばさん／花見が

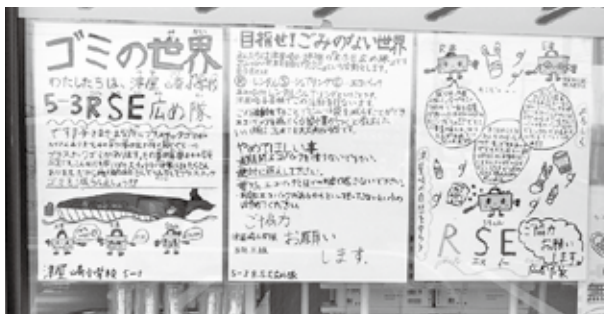
丘／70歳）

「郷育」とは、地域・ふるさとによって育てられ、また地域・ふるさとを育てていく姿をイメージした言葉です。

郷育カレッジは地域の人材育成を目指し、コミュニティの絆を深められるような学習機会を提供しようと取り組んでいます。今後も郷育カレッジなどを通じて、幅広い世代の人が知り合い、つながり、ふるさとの良さを共に学び、考え、知ること、生きがいのある健やかな暮らしにつなげていきます。

空き地の適正管理を進めてほしい

近所で空き地になって雑草が伸び放題になった



▲子どもたちが作ったポスター

ある日、津屋崎のコンビニエンスストアに貼ってある子どもたちが書いたポスターに目がとまりました。お店の人に尋ねると「昨年度に津屋崎小学校の子どもたちが、ごみの減量に取り組んでいたので協力している」とのこと。そこで、どんな取り組みをしているのか、津屋崎小学校の先生に尋ねました。

教えてくれたのは、当時5年3組の担任だった逸見和久

先生。津屋崎小学校では5年生が総合学習の時間に、環境保全について学んでいます。5年3組では、ごみの減量の学習をしました。学習を進めていく中で、エコバッグを作りして配ろうということになったそうです。しかし、1人1個ずつ作ったとしても40個くらいしかできません。そこで、お店にエコバッグを置いてもらい、お客さんに貸し出しする仕組みを考えました。貸し出しするエコバッグは全校児童に材料の提供をお願い。作成を手伝ってくれた保護者もいて最終的に300個ができました。また、お店に取り組みを紹介するポスターを掲示してもらったり、エコバッグの設置をお願いしたりしました。逸見先生は「想像を超えた子どもたちの活動に目を見張るほどだった。子どもたちを支えてくれた地域のかたがたに感謝したい」と話してくれました。（うめさくさん／中央／50歳）

街角 カメラリポート

このコーナーでは読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬な話題を写真とともにお届けします。

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



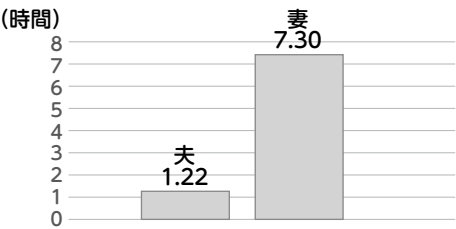
▲家事も育児も、ともに担い、支え合うことが大切です

男女がともに担う 家事と子育て

総務省は平成28年に6歳未満の子どもがいる夫婦の一日当たりの家事・育児関連時間を調べました。その結果、男女の家事・育児に携わる時間に大きな差があることが分かりました。

仕事で一定の評価を得るためには、経験を積んだり、自己研さんをしたりする時間が必要です。そこに費やす時間を犠牲にして、妻は家事・育児を負担しています。家事・育児への対応を話し合う際に、妻が職場と交渉して仕事の時間を抑えるようなことがあ

6歳未満の子どもがいる夫・妻の家事関連時間の推移（平成28年）



出典：総務省統計局 平成28年社会生活基本調査（一部抜粋）

たとしたら、とても残念なことです。そこには「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識が見え隠れしています。ぜひ、妻の仕事やキャリア形成も、夫と同様に

尊重できる関係を築いてほしいと思います。そのためには、夫婦間の対話が重要です。

市では、夫婦間の対話を進める新たな取り組みとして「世帯経営会議推進セミナー」を開催します。この講座では、お互いの思いと描く未来を共有することを主眼に置き、対話を通してお互いが思いやり、家事や育児に協力の関係を取り組み、より良い夫婦の関係を築くことを目的としています。このような講座を開催することで、家庭でも男女共同参画の推進を図っていききたいと考えています。
問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

り、不法投棄されたごみなどが放置されたりしている場所を見掛けることがあります。住環境の悪化につながるので、市からも持ち主に改善策を提案してもらえないでしょうか。（I・Mさん／原町／65歳）

この条例に基づき、土地の所有者や管理者などへ、空き地が危険な状態にならないよう、雑草処理などをお願いしています。地域で問題になっている空き地の所有者に連絡がつかない場合は、市で所有者を調査し、雑草などの処理をお願いします。詳しくは市うみがめ課までご相談ください。

「好いとお！福津」は皆さんと一緒に作るページです。広報紙の感想などがあれば21ページの市まちづくり推進室宛てのがきやメールなどで受け付けています。街角カメラリポートは、記事を写真と一緒に市まちづくり推進室宛てに郵送またはメールで投稿

してください。投稿記事は500文字程度で作成し、写真は郵送の場合は印刷したもの、メールの場合は2MB以上のJPEGデータを送付してください。ただし、送信データが10MBを超えると受信できないことがありますのでご注意ください。お送りいただいた内容は、紙面の都合で加筆、修正、短

縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考します。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。たくさんのお声をお待ちしています。
受付、問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎43・8113、メール info@city.fukutsu.lg.jp